

Hyperflex UIおよびCLIのテクニカルサポートファイルの収集

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[内容](#)

[HX 4.0以降 : HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル](#)

[HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル : HyperflexクラスタUI方式 \(HXバージョン2.5 ~ 3.5 \)](#)

[HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル : HyperflexクラスタUI方式 \(バージョン2.5より前\)](#)

[HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル : HyperflexクラスタCLI方式](#)

[Hyperflexインストーラログのキャプチャ : HyperflexプラットフォームインストーラUI方式](#)

[Hyperflexインストーラログのキャプチャ : HyperflexプラットフォームインストーラのCLI方式](#)

[VMware ESXi ログのキャプチャ](#)

[VMware vCenter ログのキャプチャ](#)

[UCS ログのキャプチャ](#)

[バイアスのない言語](#)

はじめに

このドキュメントでは、Hyperflex UIおよびCLIのテクニカルサポートファイルを収集する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

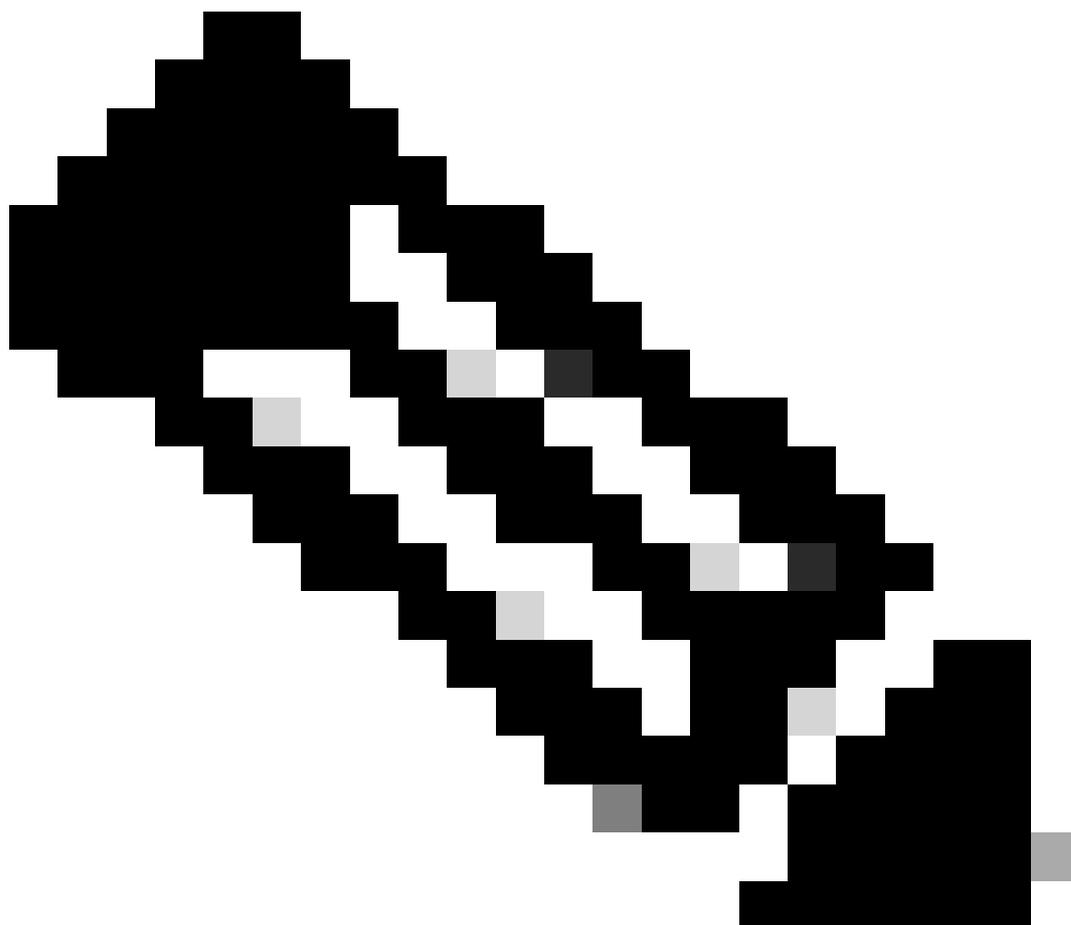
このドキュメントは、特定のハードウェアやソフトウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

背景説明

Cisco TACに問い合わせる場合、トラブルシューティングプロセスではテクニカルサポートファイルが重要です。



注：Cisco Intersightを使用し、UCS ManagerとHyperFlex ConnectをIntersightに接続しているお客様は、Cisco TACでUCSハードウェアまたはストレージコントローラ(storfs-support)のファイルを手動でアップロードせずに収集できます。

内容

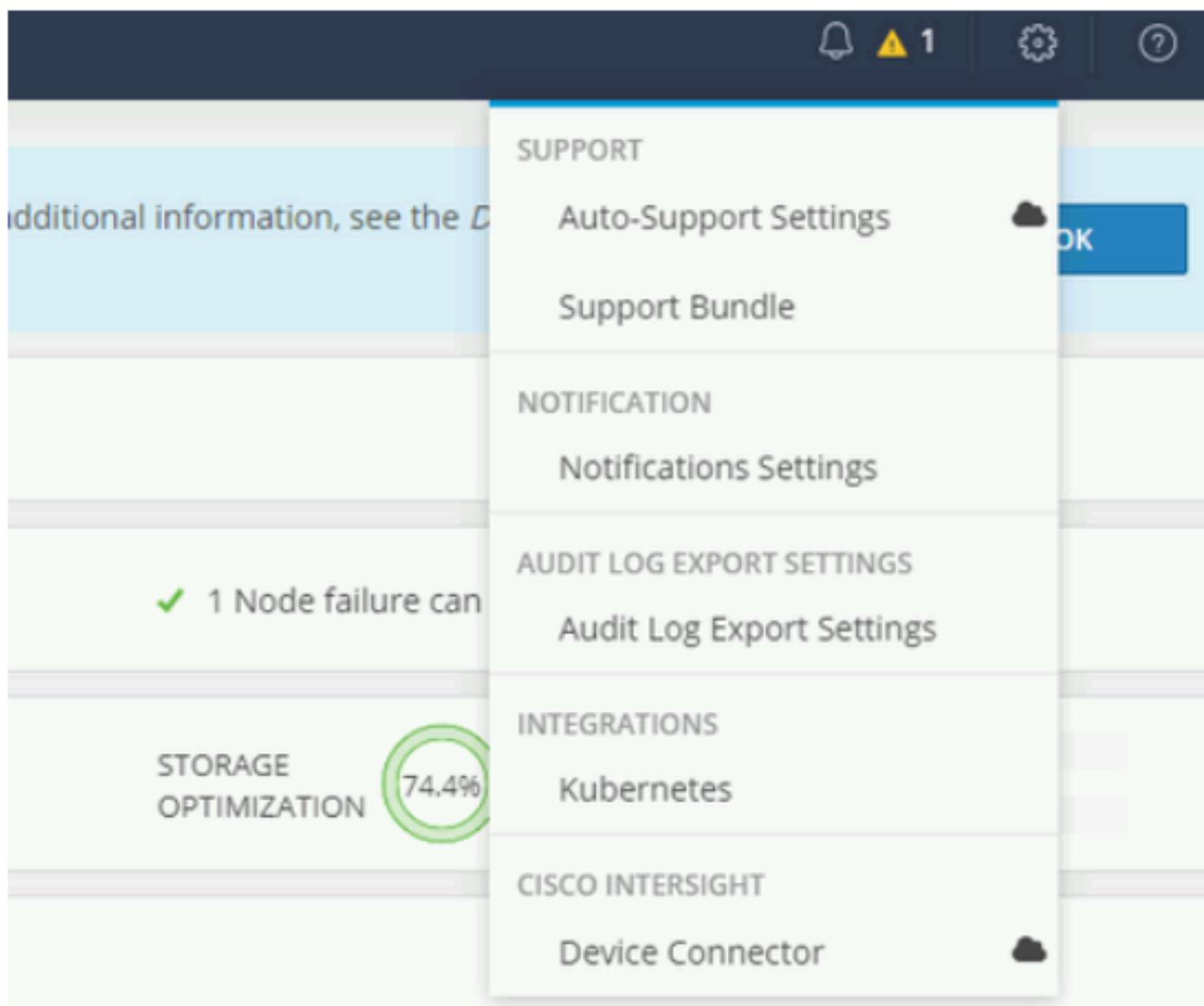
HX 4.0以降：HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル

HX Connect UI を使用

サポートバンドルの収集に推奨される方法は、HX Connectのユーザーインターフェイスを使用することです。HXストレージクラスタ内の選択したすべてのコントローラVMおよびESXiホストからログを収集するサポートバンドルを生成できます。vCenterのログはHX Connectからは収集されません。

すべてのサポートバンドルのタイムスタンプは、クラスタのタイムゾーンまたはサーバのタイムゾーン設定に関係なく、UTCタイムゾーンで表示されます。

ステップ 1 : HX Connectにログインして、Settings、Support Bundleの順にクリックします。

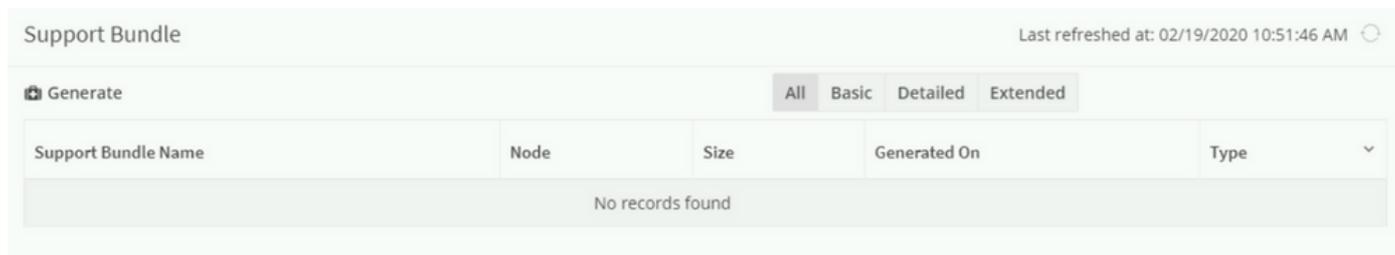


ステップ 2 : Support Bundleの下に、Basic、Detailed、Extendedの3つのオプションが表示されます。

[基本 (Basic)] : Cisco HX Data Platform ログ

[詳細 (Detailed)] : 基本的なサポートバンドルに加えて、環境のハイパーバイザのログとパフォーマンスデータを収集します。これは、storfs-support コマンドによって生成されるデフォルトのサポートバンドルです。

[拡張 (Extended)] : [拡張サポートバンドル (Extended support bundle)] オプションのみを選択して生成すると、コアファイルのみが含まれます。[推奨サポートバンドル (Recommended support bundle)] と [拡張サポートバンドル (Extended support bundle)] オプションを選択して生成すると、コアファイルと詳細なサポートバンドルが含まれます。



ステップ 3 : [Generate] をクリックします。これにより、ノードを選択するためのポップアップが表示され、さまざまなタイプのサポートバンドルを生成してダウンロードできます。

- デフォルトのオプションは、推奨サポートバンドルの生成です。
- 推奨サポートバンドルを選択すると、基本サポートバンドルと詳細サポートバンドルの両方の作成がトリガーされます。
- デフォルトでは、すべてのノードが選択されています。不要なノードは手動でオフにします。

Select bundle options

Recommended support bundle
Generate basic and detailed support bundles for each selected node. Use the basic support bundle to initiate support case.

Extended support bundle
Generate the extended support bundle for each selected node. This option should be used with guidance from Cisco support. This will create a support bundle with a large size.

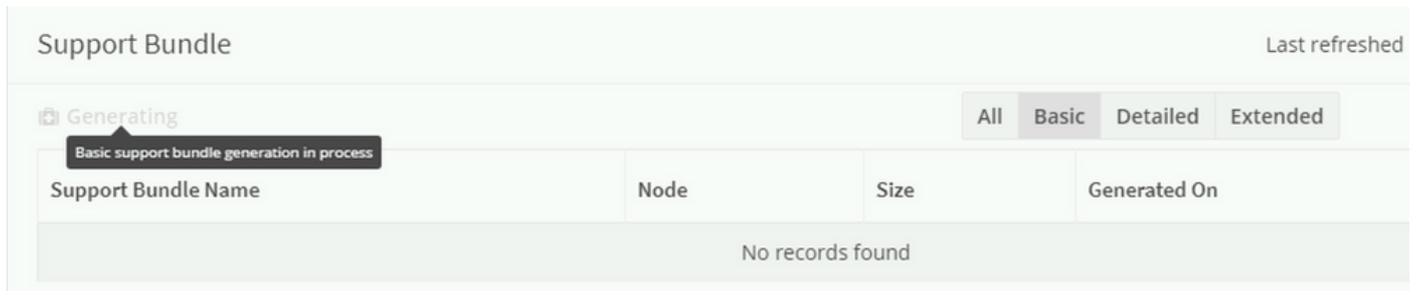
Select Nodes to generate support bundle

Filter

<input checked="" type="checkbox"/>	Node	Hypervisor Address	Controller Address
<input checked="" type="checkbox"/>	hx-02-esxi-01	192.168.200.24	192.168.200.30
<input checked="" type="checkbox"/>	hx-02-esxi-02	192.168.200.25	192.168.200.31
<input checked="" type="checkbox"/>	hx-02-esxi-03	192.168.200.26	192.168.200.32

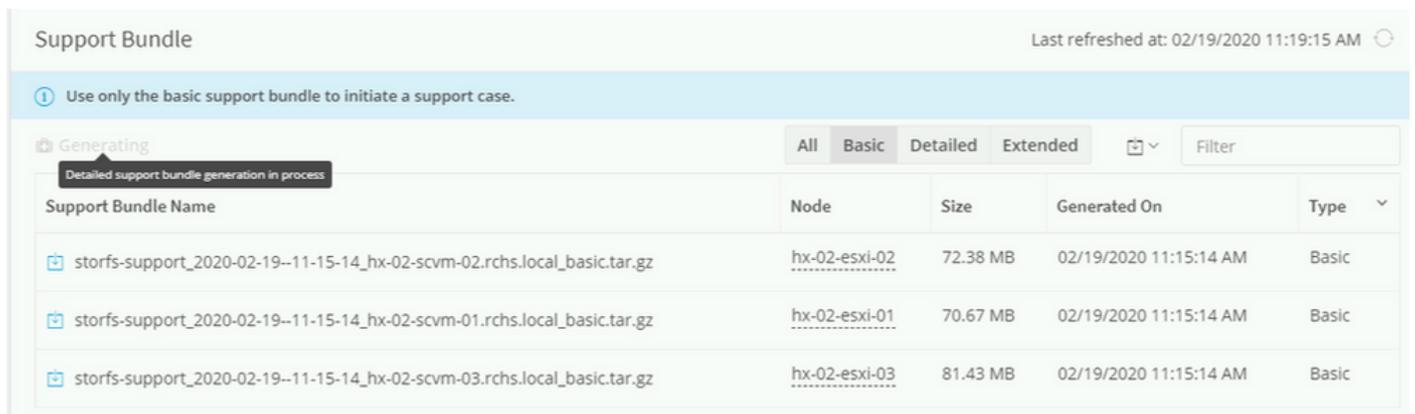
Generateをクリックして、サポートバンドルの作成を開始します。

完了すると、「Generate」オプションがグレー表示され、処理中の基本サポートバンドルの生成が示されます。



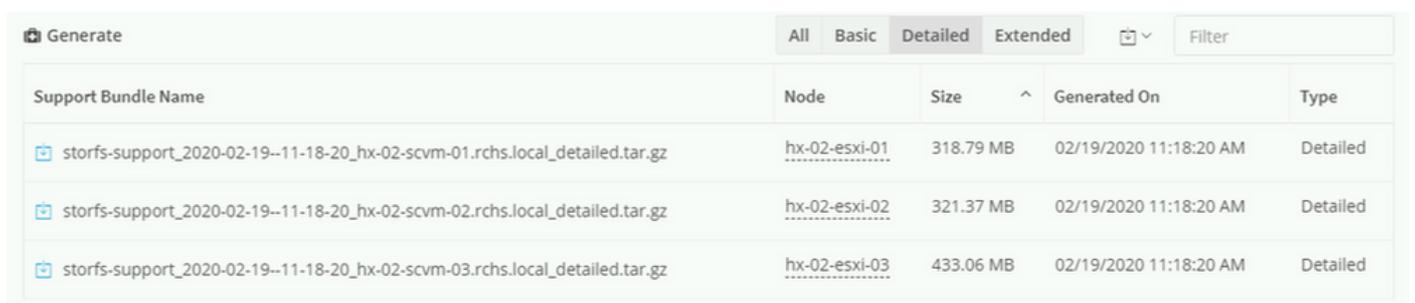
基本サポートバンドルの生成が完了したら、詳細なサポートバンドルの生成を開始できます。これは、[基本]タブを参照すると確認できます。

Generateオプションはグレー表示され、プロセス中の詳細サポートバンドルの生成を示すことができます。



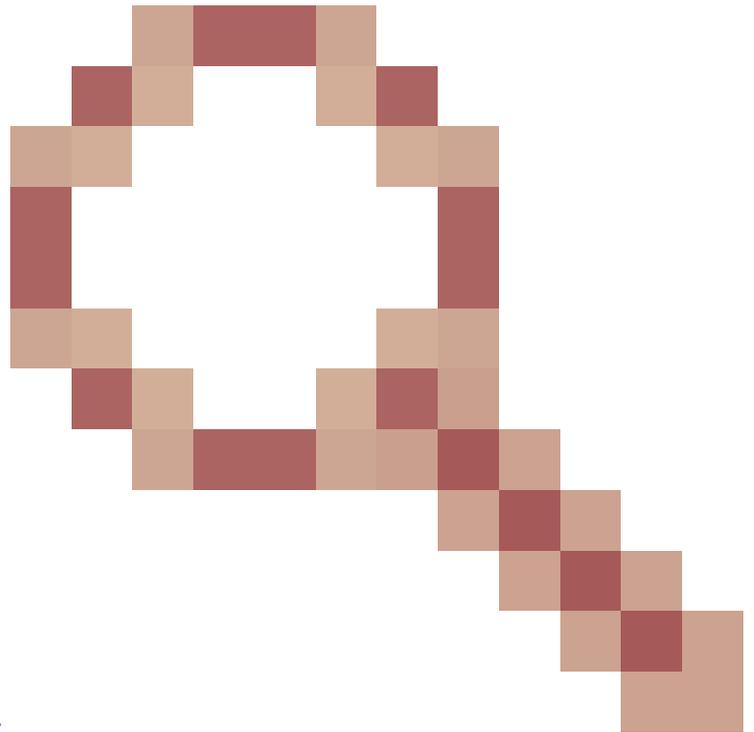
サポートされている基本バンドルを使用するTACケースをオープンできるようになりました。サポート案件をエンジニアリング部門にエスカレーションする必要がある場合は、詳細なサポートバンドルが必要です。

ステップ 4：両方のサポートバンドルが生成されると、「Support Bundle Generation Completed」というプロンプトが表示されます。次に、必要に応じて基本または詳細サポートバンドルをダウンロードできます。



HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル：HyperflexクラスタUI方式

(HXバージョン2.5 ~ 3.5)



警告：原因は[Cisco Bug ID CSCvp58804](#)

Cisco TACでは、Hyperflex 3.5(2c)以降のような不具合の修正済みリリースを実行しない限り、このログ収集方式を使用しないことを強く推奨します。

この UI にアクセスするには、<https://{stctlvm mgmt ip}> に移動します

stctlvm = ストレージ コントローラ VM

The screenshot displays the Hyperflex Connect Hyperflex-AF user interface. The top navigation bar features the Cisco logo, 'Hyperflex Connect', and 'Hyperflex-AF'. A settings gear icon is highlighted with a red circle '1'. The main content area shows a 'Support Bundle' section with a 'Generate' button (red circle '3'). Below this, two support bundle files are listed: 'springpath-support-bundle-1506480797127.zip' and 'springpath-support-bundle-1506478983861.zip' (red circle '4'). A settings menu is open, showing options like 'Auto-Support Settings', 'Support Bundle' (red circle '2'), 'Notifications Settings', and 'Preview'. The left sidebar contains navigation options: Dashboard, MONITOR (Alarms, Events, Activity), and ANALYZE (Performance).

HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル：HyperflexクラスタUI方式
(バージョン2.5より前)

この UI にアクセスするには、<https://{stctlvm mgmt ip}/ui> に移動します

stctlvm = ストレージ コントローラ VM

HyperFlexデータプラットフォームサポートバンドル：HyperflexクラスタCLI方式

ステップ1: storfs-supportコマンドを使用します。

SSHクライアントを使用してストレージコントローラにログインしたら、所定のコマンドを実行してテクニカルサポートファイルを生成できます。後で、SFTPクライアントを使用してコピーできます。

詳細なサポートバンドル

古い方法を使用し、CLIコマンドstorfs-supportを実行してデフォルト（または詳細なサポートバンドル）を生成します。

```
<#root>
```

```
root@SpringpathController0FDF9RNMJK:~#
```

```
storfs-support
```

```
2017-04-28 05:24:18,505 - Storfs-Support - INFO -  
2017-04-28 05:24:18,505 - Storfs-Support - INFO -  
2017-04-28 05:24:18,505 - Storfs-Support - INFO - Initiating support generation...  
2017-04-28 05:24:18,506 - Storfs-Support - INFO -  
2017-04-28 05:24:18,506 - Storfs-Support - INFO -  
2017-04-28 05:24:18,506 - Storfs-Support - INFO - Generating support archive. This can take some time..
```

```
2017-04-28 05:24:18,506 - Storfs-Support - INFO -
2017-04-28 05:31:57,692 - Storfs-Support - INFO - Support archive generated at:
/var/support/storfs-support_2017-04-28--05-24-18_SpringpathController0FDF9RNMJK.tar.gz
```

```
2017-04-28 05:31:57,692 - Storfs-Support - INFO - Removing directory... /var/support/cmds_output
```

このCLIは、すべてのファイルが収集されるまでスクロールします。

テクニカルサポートバンドルが終了すると、CLIに次のような出力が表示されます。

```
<#root>
```

```
2017-04-28 05:31:57,692 - Storfs-Support - INFO -
```

```
Support archive generated at:
```

```
/var/support/storfs-support_2017-04-28--05-24-18_SpringpathController0FDF9RNMJK.tar.gz
```

```
2017-04-28 05:31:57,692 - Storfs-Support - INFO - Removing directory... /var/support/cmds_output
```

```
2017-04-28 05:31:57,694 - Storfs-Support - INFO -
```

```
2017-04-28 05:31:57,694 - Storfs-Support - INFO -
```

```
2017-04-28 05:31:57,694 - Storfs-Support - INFO - Adding file...
```

```
/var/support/storfs_support-20170428-052418.out
```

```
2017-04-28 05:31:57,698 - Storfs-Support - INFO - Removing file...
```

```
/var/support/storfs_support-20170428-052418.out
```

```
root@SpringpathController0FDF9RNMJK:~#
```

サポートバンドルは /var/support に保存されます。

```
<#root>
```

```
root@SpringpathController0FDF9RNMJK:~#
```

```
ls -lh /var/support
```

```
total 398M
```

```
drwxrwxrwx+ 3 root root 4.0K Apr 28 05:19 asup
```

```
-rw-rw-rw- 1 root root 398M Apr 28 05:31
```

```
storfs-support_2017-04-28--05-24-18_SpringpathController0FDF9RNMJK.tar.gz
```

```
root@SpringpathController0FDF9RNMJK:~#
```

 注:CLI方式では、ローカルストレージコントローラのバンドルのみが生成されます。環境口
グが必要な場合は、個々のストレージコントローラで手動で実行する必要があります。

storfs-support コマンドで使用できるその他のオプションは次のとおりです。

```
storfs-support --perf
```

storfs-support --extended

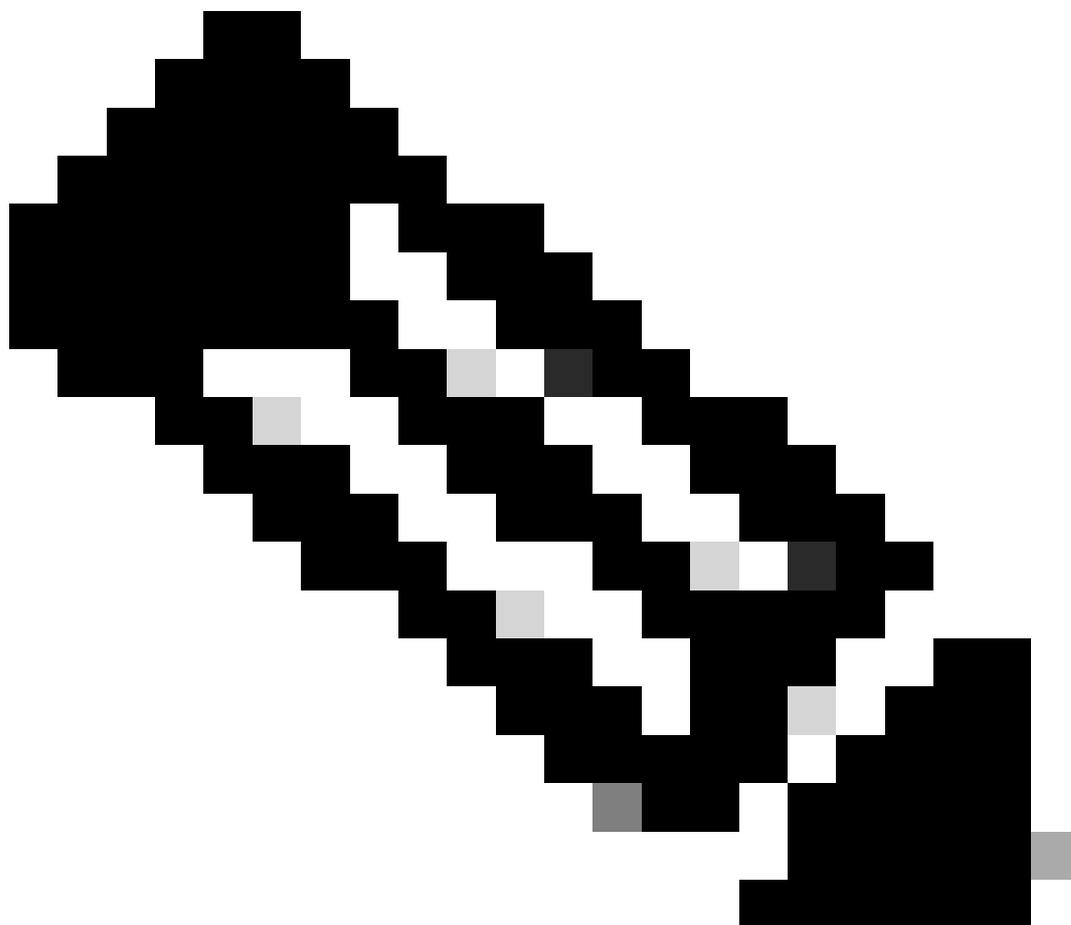
--perf

環境のパフォーマンスデータを収集します。

--extended

/var/core ディレクトリにあるコアファイルをサポートバンドルに含めます。

新規：基本サポートバンドル



注：storfs-supportには基本サポートバンドルのオプションがありますが、サポートバンドルファイル名にファイル名（基本と詳細）を追加する機能はありません。

以下に示すように、基本バンドルのファイル名は、詳細なstorfs-supportを追加せずに生成したファイル名と同じです。

<#root>

```
root@hx-02-scv-03:~#
```

```
storfs-support --basic
```

```
/var/support
```

```
2020-02-19 12:33:01,315 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,315 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,315 - Storfs-Support - INFO - Initiating support generation...  
2020-02-19 12:33:01,317 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,317 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,317 - Storfs-Support - INFO - Generating support archive. This can take some time..  
2020-02-19 12:33:01,317 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,317 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:33:01,318 - Storfs-Support - INFO - STORFS_RUNTIMEDIR: /tmp  
2020-02-19 12:33:01,318 - Storfs-Support - INFO - STORFS_SOURCEDIR:
```

```
2020-02-19 12:35:34,446 - Storfs-Support - INFO -  
2020-02-19 12:35:34,446 - Storfs-Support - INFO - Support archive generated at:
```

```
/var/support/storfs-support_2020-02-19--12-33-01_hx-02-scv-03.rchs.local.tar.gz
```

```
2020-02-19 12:35:34,446 - Storfs-Support - INFO - Removing directory... /var/support/cmds_output
```

ステップ 2 : asupcli コマンドを使用します。

asupcli generate コマンドを実行します。asupcli generate—help を実行して、オプションのリストを取得できます。

```
root@hx-02-scv-03:~# asupcli generate --help  
usage: asupcli generate [-h] --type {basic,detailed,core-only}  
                        [--prefix PREFIX] [--core]  
  
Generate regular support bundle  
  
optional arguments:  
  -h, --help            show this help message and exit  
  --type {basic,detailed,core-only}  
                        type of bundle [basic|detailed|core-only]  
  --prefix PREFIX       prefix to the support bundle file name  
  --core                add core to the support bundle  
root@hx-02-scv-03:~#  
root@hx-02-scv-03:~#
```

デフォルト/詳細サポートバンドルの生成

```
root@hx-02-scv-03:~#  
root@hx-02-scv-03:~# asupcli generate --type detailed  
root@hx-02-scv-03:~#  
root@hx-02-scv-03:~#
```

基本サポートバンドルの生成

```
root@hx-02-scvms-03:~#
root@hx-02-scvms-03:~#
root@hx-02-scvms-03:~# asupcli generate --type basic
root@hx-02-scvms-03:~#
```

ログは/var/supportに保存されます。

```
root@hx-02-scvms-03:~# cd /var/support/
root@hx-02-scvms-03:/var/support# ls -l
total 1.1G
-rw-rw-rw- 1 root root 435M Feb 19 12:50 storfs-support_2020-02-19--12-42-27_hx-02-scvms-03.rchs.local_detailed.tar.gz
-rw-rw-rw- 1 root root 434M Feb 19 11:26 storfs-support_2020-02-19--11-18-20_hx-02-scvms-03.rchs.local_detailed.tar.gz
-rw-rw-rw- 1 root root 83M Feb 19 12:41 storfs-support_2020-02-19--12-38-52_hx-02-scvms-03.rchs.local_basic.tar.gz
-rw-rw-rw- 1 root root 83M Feb 19 12:35 storfs-support_2020-02-19--12-33-01_hx-02-scvms-03.rchs.local.tar.gz
-rw-rw-rw- 1 root root 82M Feb 19 11:17 storfs-support_2020-02-19--11-15-14_hx-02-scvms-03.rchs.local_basic.tar.gz
drwxrwxrwx+ 3 root root 4.0K Jan 13 17:42 asup
drwxrwxrwx+ 2 root root 4.0K Feb 19 06:00 asup_default
drwxrwxrwx+ 2 root root 4.0K Feb 19 12:44 asup-restapi-outputs
drwxrwxrwx+ 3 root root 4.0K Feb 19 12:49 esx-asup-default
drwxrwxrwx+ 2 root root 4.0K Jan 13 17:42 java_heap_dump
drwxrwxrwx+ 2 root root 4.0K Jan 13 17:43 supportbundle
root@hx-02-scvms-03:/var/support#
```

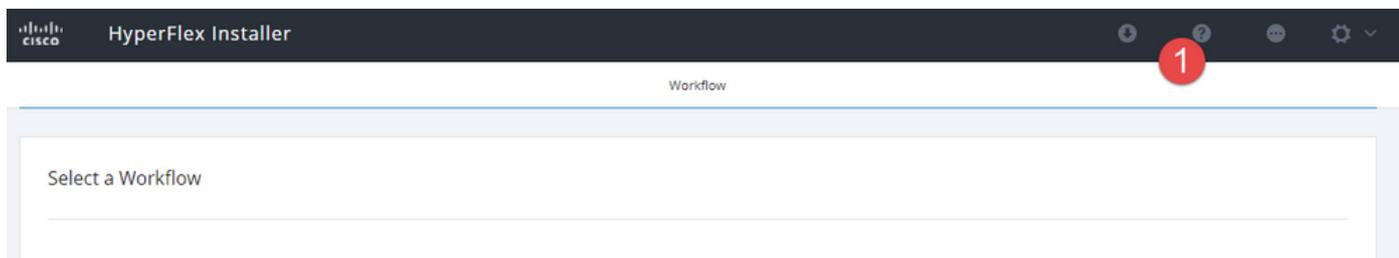
Hyperflexインストーラログのキャプチャ : HyperflexプラットフォームインストーラUI方式

このUIにアクセスするには、[tohttps://{{HX_Installer_ip}}](https://{{HX_Installer_ip}})に移動します。

クレデンシャルでログインします。

ユーザ名 : root

パスワード : Cisco123



Tech Support



HyperFlex Installer

Version 2.1(1c)

HyperFlex Data Platform

Version 2.1(1c)

Build Release 2.1.1c

Build Id 21048

Build Type release

Build Date Aug 04, 2017

Build Git Hash ec0043c515d628fb2b3e2...

Tech Support Bundles

 To include data from UCS, please enter your UCS Manager Credentials

```
/var/support/storfs-support_2012-12-07--19-59-52_Cisco-HX-Data-Platform-Installer.tar.gz
```

```
2012-12-07 19:59:52,994 - Storfs-Support - INFO - Removing directory... /var/support/cmds_output
2012-12-07 19:59:52,994 - Storfs-Support - INFO -
2012-12-07 19:59:52,994 - Storfs-Support - INFO -
2012-12-07 19:59:52,995 - Storfs-Support - INFO - Adding file...
/var/support/storfs_support-20121207-195952.out
2012-12-07 19:59:52,996 - Storfs-Support - INFO - Removing file...
/var/support/storfs_support-20121207-195952.out
root@Cisco-HX-Data-Platform-Installer:/var/support#
```

サポートバンドルは /var/support に保存されます。

```
<#root>
```

```
root@Cisco-HX-Data-Platform-Installer:~# ls -lh /var/support/
total 204K
-rw-rw-rw- 1 root root 203K Dec 7 19:59
storfs-support_2012-12-07--19-59-52_Cisco-HX-Data-Platform-Installer.tar.gz
```

```
root@Cisco-HX-Data-Platform-Installer:~#
```

VMware ESXi ログのキャプチャ

VMware ESXi 関連のログを収集するには、次の VMware Knowledge Base の記事を参照してください。

GUIクライアント経由：<https://kb.vmware.com/kb/653>

CLIセッション：<https://kb.vmware.com/kb/1010705>

VMware vCenter ログのキャプチャ

フルバンドル：<https://kb.vmware.com/s/article/2032892>

Virgoのログ：<https://docs.vmware.com/en/VMware-vSphere/6.5/com.vmware.vsphere.monitoring.doc/GUID-7E10C58F-16EA-44AB-8AA0-8D4A66399879.html>

EAMログ：<https://kb.vmware.com/s/article/2110014>

UCS ログのキャプチャ

UCSテクニカルサポートファイル – B、C、Sシリーズを収集するためのビジュアルガイド：<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/servers-unified-computing/ucs-infrastructure-ucs-manager-software/211587-Visual-Guide-to-collect-UCS-Tech-Support.html>

バイアスのない言語

この製品のドキュメントセットでは、バイアスのない言語を使用するように努めています。本書の目的上、バイアスのない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、および相互関係に基づく差別を意味しない言語と定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェイスにハードコードされている言語、標準のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照先のサードパーティ製品で使用されている言語によっては、ドキュメントに例外が存在する場合があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。